

仕 様 書 (提案時)

福岡市は、受注事業者（以下「受注者」という。）に対し、「SusHi Tech Tokyo 2026 九州・沖縄パビリオン出展にかかるブース装飾等業務」（以下「本事業」という。）を委託する。なお、本事業の内容及び業務の範囲については、本仕様書によるものとする。

【件名】

SusHi Tech Tokyo 2026 九州・沖縄パビリオン出展にかかるブース装飾等業務委託

【事業目的】

福岡市は、世界中から新たなイノベーションを創出するスタートアップが集積する都市として、官民一体となって開催するスタートアップイベント「RAMEN TECH」を軸に、スタートアップの創出・成長及びグローバル展開の促進に取り組んでいる。

東京都が主催するグローバルイノベーションカンファレンス「SusHi Tech Tokyo 2026」においては、福岡市・熊本市・沖縄県が連携して「九州・沖縄パビリオン」を出展し、九州域内のスタートアップ及びスタートアップ支援の取組みを一体的に発信する。

あわせて、九州・沖縄パビリオン内における福岡市の出展区画については、「RAMEN TECH」及び福岡スタートアップの魅力を強力に発信し、来場者との新たな接点創出や認知向上を図ることを目的とし、熊本市の出展区画については、熊本スタートアップの魅力を強力に発信し、来場者との新たな接点創出や認知向上を図ることを目的とし、沖縄県の出展区画については、「おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム」として沖縄のエコシステムを広くPRすることを目的とする。

【概要】

1 展示会名

SusHi Tech Tokyo 2026

2 実施時期

(1) 会期

令和8年4月27日（月）～29日（水・祝） 3日間

(2) 搬入・施工

令和8年4月25日（土）・26日（日）※見込み

(3) 搬出・撤去

令和8年4月29日（水・祝） 18時30分以降 ※見込み

3 業務の実施場所

東京ビッグサイト 西1・2・3・4ホール

4 九州・沖縄パビリオンの規格（予定）

（1）出展パビリオンの規格

- ・小間サイズ：36 m²（6m×6m）

- ・形状：正方形

- ・高さ制限：3.0mまで

※2.7m以上の装飾をする場合は、通路および隣接小間との境界線より

1mのセットバックが必要。（2.7m装飾制限）

※4面開放（やむを得ずブースや通路と隣接している面に壁面を立てる場合は

高さ1.8m以内）

- ・会場天井からの吊り物は不可

- ・スペースのみの提供。床面に墨だしを実施の上、主催者から引渡し

（2）想定出展者構成 計11者（社）（11スペース）

- ・福岡市（RAMEN TECH 事務局（受付エリア））

- ・福岡市内スタートアップ 4社

- ・熊本市内スタートアップ 3社

- ・沖縄県内スタートアップ 2社

- ・沖縄県（おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム受付エリア）

5 ブースコンセプト、設備等

（1）ブースコンセプト

九州・沖縄パビリオン全体

○ 熊本市及び沖縄県と連携した「九州・沖縄パビリオン」全体は、「和」を基調とした空間デザインとし、九州各地の多様な文化・風土を感じさせつつ、来場者に親しみやすく、足を止めたいような演出を行う。

○ 九州・沖縄パビリオン内の出展区画の構成は、福岡市（受付エリア+スタートアップ4社分）、熊本市、沖縄県の面積比を概ね「2：1：1」とすることを前提とし、当該面積配分を踏まえた一体感のあるレイアウト及び空間構成とすること。

○ 各都市の予算額に応じたデザイン施工を行うこと。

○ たとえば木目調パネルや提灯等を活用し、「九州」としての一体感を演出するとともに、各都市の出展区画については、共通のデザインを踏襲しつつ、色使いやグラフィック、サイン計画等により、それぞれの特色や個性が来場者に直感的に伝わる工夫を行うこと。

- また、出展パビリオンの規格に反しない範囲で、天板上部、屋根形状を想起させる意匠、立体文字等の手法を用い、九州・沖縄パビリオン全体の視認性向上を図ること。
- 昨年の「SusHi Tech Tokyo 2025」の会場の様子を参考に、効果的な照明や色合いでデザインし、デザイン案を提案すること（2案まで可）。
- ※「SusHi Tech Tokyo 2025」については、以下のリンクを参照のこと。

<https://sushitech-startup.metro.tokyo.lg.jp/2025/>

スタートアップ出展ブース（福岡市・熊本市・沖縄県共通）

- 九州・沖縄パビリオン全体の世界観と調和するデザインとしつつ、各都市・出展者の特色が埋没しないよう、配色や装飾、パネル表現等により差別化を図ること。
- 来場者とのコミュニケーションやネットワーキングが円滑に行えるよう、視認性、回遊性及び動線に十分配慮したレイアウトとすること。

RAMEN TECH 事務局（受付エリア）

- 九州・沖縄パビリオン全体の世界観と調和を図りつつ、赤を基調としたラーメン屋台風のデザインとし、暖簾、のぼり、提灯等を活用した、来場者の誘引力が高い空間とすること。
- スタートアップ出展ブースと同等以上の視認性を確保し、九州・沖縄パビリオン内のランドマークとなるよう工夫すること。

おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム（受付エリア）

- 九州・沖縄パビリオン全体の世界観と調和を図りつつ、青を基調とした沖縄の風土を感じさせるデザインとすること。

（2）ブースの設備

- 出展スタートアップごとの9者（社）分の展示スペース及びRAMEN TECH 事務局（受付エリア）1スペース、おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム（受付エリア）1スペースを確保すること。
- 出展スタートアップごとに、社名版及びモニターを設置すること（モニターサイズは提案による）。また、4月27日（月）及び28日（火）と29日（水・祝）は、来場者の属性が異なることが想定されるため、出展企業を変更する可能性がある。社名版等が容易に入れ替えられる仕様とすること。
- 出展スタートアップごとに、展示台、椅子（1脚以上）、照明（スポットライトを2灯程度）、2口コンセント1個以上を設置すること。また、出展者用の収納スペースを設けること。
- RAMEN TECH 事務局（受付エリア）には、来場者への案内及び受付対応を行うため、カウンタ等の什器、サイン類及びモニター・備品を適切に配置すること。また、椅子（2脚以上）、収納スペース、2口コンセント1個以上を設置すること。
- 動線を考慮し、ブース内で不利な展示場所が出ないようなレイアウトとすること。

6 委託内容

- (1) 「5 ブースコンセプト、設備等」とともに、ブースデザイン案及び設置計画を提案すること。計画の策定にあたっては、「施工上の注意事項（※別紙）」にある諸事項を遵守すること。
- (2) 東京都及び東京都が指定する業者に対し、図面（平面図/立面図含む）及び各種申請書（装飾業者、インターネット、電気工事、ケータリング等）を直接、提出すること。
- (3) 東京都又は東京都が指定する業者に対し、期日までに出展企業分の出展料計最大 45 万円（5 万円/社）を支払うこと。
- (4) 設置計画の実施に係る工事、什器・備品類の搬入・設営及び撤去・搬出を行う。
- (5) その他、有効な業者提案に基づく業務等。

7 実施報告書の作成

令和 8 年 6 月 30 日（火）までに実施報告書を作成し提出すること。なお、実施報告書には、最終デザイン、施工図面及び出展ブースの様子がわかる写真を添付すること。

8 履行場所

東京ビッグサイト 外

9 履行期間

契約締結の日から令和 8 年 6 月 30 日（火）まで

10 契約形態及び留意事項

- (1) 本業務については、福岡市が代表して提案競技を実施し、受注候補者を選定するものとする。
- (2) 受注候補者として選定された事業者は、福岡市との契約に加え、熊本市及び沖縄県（あるいは、自治体の事業を受託した事業者）との間においても、それぞれ本業務に係る契約を締結する必要がある。
- (3) 熊本市及び沖縄県との契約については、あらかじめ締結する覚書の内容を踏まえ、各団体において特命随意契約により締結される予定である。
- (4) 本業務に係る経費については、福岡市、熊本市及び沖縄県が、それぞれの負担分について各自が受注者に直接支払うものとし、自治体間における費用の立替払いや送金等は行わない。
- (5) 本事業における成果物及び履行過程で得られたデータ等（写真、図表含む）の著作権等は、福岡市に帰属する。ただし、熊本市及び沖縄県は、本事業及び各団体のスタートアップ施策に関する広報・報告等を目的として、当該成果物等を無償で利用できるものとする。
- (6) 本仕様書に定めのない事項については、福岡市を窓口として、受注者及び関係団体と協議のうえ定めるものとする。